

2018 JAIMA セミナー 「これであなたも専門家－流れ分析編」

株式会社 小川商会 樋口慶郎

平成 30 年 9 月 5 日午後 2 時から 5 時まで、幕張メッセ国際会議場 302 会議室で JAIMA セミナー「これであなたも専門家－流れ分析編」が開催された。このセミナーは、毎年 9 月初旬に開催される JASIS (Japan Analytical & Scientific Instruments Show, 2012 年以前は分析展として開催されていた) の併設として、(一社) 日本分析機器工業会 (JAIMA) 主催で行われているものであり、FIA 研究懇談会 (JAFIA) として毎年参画してセミナーを開催している。JASIS 展示会には、分析機器に関する最新情報収集や機器導入を前提とした市場調査など、さまざまな目的を持った現場の実務者が全国から多く訪れると思っている。したがって本セミナーでは、日本分析化学会が主催する年会や討論会などに集まる人とは多少違う聴衆層を想定し、FIA 及び流れ分析のさらなる普及・発展のために、新規の FIA ユーザー (FIA ファン) の獲得と既存の FIA ユーザーを満足させることを目的として、多くの方々に集まって欲しいと毎年・毎年、切に思っていて運営してきている。“継続は力なり”、“どんなことでも継続して続けていくことが成功の重要な要因の一つである”と言われる。“継続”を可能とするためにも“毎年”を繰り返していくのであるが、それだけでは不十分であることは明白で、そこは主催する団体の JAIMA も我々 JAFIA も、セミナーへの集客力アップと聴衆の満足度アップを実現するために様々な工夫を取り入れている。今年度は、主催する JAIMA が、トップレクチャーの講演の動画を実際に当日収録し、講演で使用したスライドとともに後日ホームページで公開するという試みを初めて実施した。当日さまざまな理由で参加できなかったり、もう一度講演を聞いてみたい人のために、後日、何度でも見られるようにされていた。一方、JAFIA としては、手嶋紀雄 JAFIA 委員長を座長に今年度の企画を話し合い、現在進行中の JIS K0126 (流れ分析通則) と JIS K0170 (流れ分析法による水質試験方法) の改正のポイントを実際に改正委員会でご活躍の方々に解説していただくこととした。さらに、ユーザー視点に立って、流れ分析と JIS の関係性について現場の声を発信し

てもらおうことも企画した。

まず、改正原案作成委員長を務めていただいた小熊幸一先生 (千葉大学名誉教授) より、「JIS K0126 “流れ分析通則” の改正ポイント」、続いて中村栄子先生 (横浜国大名誉教授) より、「JIS K0170 “流れ分析法による水質試験方法” の大幅改正と改正 JIS K0102 “工場排水試験方法” への引用」の講演をいただいた。なお、小熊先生の講演が前述のホームページで公開された。ちょうど同時期に流れ分析の主要 2 つの JIS の改正作業が進行しているということは、いかに流れ分析が世の中で注目されているかの証明でもあろう。次いで筆者 (小川商会, MGC) の「流れ分析通則に新規に規定されるシーケンシャルインジェクション分析法 (SIA) と告示法及び JIS 法の改正に向けた FIA の対応」で、通則 JIS に新たに加わる予定の SIA の解説、熊澤頼博氏 (ビーエルテック) からは、「流れ分析法の告示引用箇条詳細及び JIS 法改正に対する CFA の対応について」で、CFA の JIS 改正への対応について講演いただいた。ご承知の通り、CFA というよりは流れ分析装置全体で最大のシェアを誇る同社から本セミナーへの初登壇で、同社の持つ様々なノウハウの一端を垣間見ることができた貴重な講演であった。最後に神奈川県で計量証明事業を展開し、FIA と CFA 両方を長年業務に使用されているユーザーの飯尾祐子氏 (アクアパルス) に「流れ分析法関連の告示法及び JIS 法に対するユーザーの期待」と題して講演いただいた。現場で FIA, CFA を運用する際のメリット、デメリット及び特性を把握されて自社での運用指針を確立されている。我々流れ分析に関わるメーカーへの厳しい指摘やユーザーからの期待も語っていただき、個人的にも大変有意義な話を聞くことができた。

2019 年度は本セミナーへの参画を一度休止し、さらなる有意義なセミナーとするための再準備をすることを決めている。良い意味での変化を起こしつつ“毎年”を“継続していく”ことが求められると思っている。読者の皆様からの忌憚のないご意見やご提案をお待ちするとともに、このセミナーに関わるものとして精進していきたいと思う。